



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社コナカ 上場取引所 東  
 コード番号 7494 U R L <https://www.konaka.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEOグループ代表 (氏名) 湖中 謙介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO管理本部長 (氏名) 湖中 龍介 T E L 045-825-7700  
 配当支払開始予定日 一  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	13,741	△5.4	△143	—	△32	—	1,755	261.6
	14,533	△13.4	152	—	273	△1.5	485	537.1

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 △216百万円 (−%) 2025年9月期第1四半期 169百万円 (△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	52.16	—
2025年9月期第1四半期	14.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年9月期第1四半期	百万円 43,646	百万円 16,249	% 37.2
2025年9月期	42,274	16,634	39.3

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 16,249百万円 2025年9月期 16,634百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計) 通期	百万円 31,916 55,240	% △1.2 △0.4	百万円 1,308 423	% △17.4 —	百万円 1,333 621	% △24.4 —	百万円 2,487 1,585	% 52.6 —	円 銭 73.88 47.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年9月期1Q	35,322,490株	2025年9月期	35,322,490株
2026年9月期1Q	1,656,895株	2025年9月期	1,656,601株
2026年9月期1Q	33,665,750株	2025年9月期1Q	33,527,953株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(追加情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移したものの、円安の長期化やエネルギー・原材料価格の高騰に伴う物価上昇の影響により、景気の回復基調は緩やかなものにとどまりました。

このような状況のもと、「コナカ・フタタ」では、ビジネスカジュアルやオケージョン向けレディースアイテムの新商品を投入し、幅広いシーンに対応する商品構成の充実を図りました。「SUIT SELECT」では、新しいシルエットの『WIDE PANTS SUIT』をデビューさせ、ファッショニに興味のあるお客様を中心に大きな反響を得ました。「DIFFERENCE」では、公式アプリの大幅なリニューアルを実施し、操作性の向上と直感的で分かりやすいユーザーインターフェースを実現することで、顧客利便性の向上を図りました。「サマンサタバサグループ」では、構造改革及び収益向上に向けた各種施策を推進いたしました。この結果、新商品による顧客層の拡大や既存顧客への再来店の促進には一定の成果が見られたものの、平年を上回る気温が続いたことによる季節性商品の需要の低下や、サマンサタバサグループにおける前期からの不採算店舗の積極的な退店の影響等により、ファッショニ事業の売上高は129億20百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

フードサービス事業につきましては、客単価の向上により、売上高は5億58百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

教育事業につきましては、療育教室数の増加により、売上高は2億62百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は137億41百万円(前年同期比5.4%減)、営業損失1億43百万円(前年同期は営業利益1億52百万円)、経常損失は32百万円(前年同期は経常利益2億73百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益26億26百万円及び税金費用として法人税等調整額698百万円の計上等により、17億55百万円(前年同期比261.6%増)となりました。

なお、当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期から第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は228億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が25億78百万円、売掛金が6億92百万円、商品及び製品が7億72百万円増加したことによるものであります。固定資産は208億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億99百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の売却等により投資有価証券が30億17百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は436億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億71百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は221億26百万円となり、前連結会計年度末と比べ21億40百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が11億82百万円、電子記録債務が7億51百万円増加したことによるものであります。固定負債は52億70百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億83百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は273億96百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億56百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は162億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は37.2%(前連結会計年度末は39.3%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、2025年11月14日に発表しました連結業績予想を変更しておりません。

なお、当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期から第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

(4) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益は4億78百万円となったものの、6期連続で営業損失及び経常損失を計上しました。また、当第1四半期連結会計期間末時点での流動比率は103.2%と流動資産の額が流動負債の額を上回っているものの、財務制限条項に抵触した金融機関借入金が存在しております。このような状況を踏まえ、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当該状況を解消するために、当社においては、事業ポートフォリオの見直しを通じて経営資源を最適に配分し、採算性の向上と収益基盤の強化に努めてまいります。また、デジタル技術の活用及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、業務効率化と顧客体験価値の向上を図り、価値創出に向けた取り組みを一層強化してまいります。こうした施策を通じて、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの抜本的構造改革につきましては、店舗・ブランドの効率化をはじめ、踏み込んだ具体的な計画の実施に取り組んでおります。

資金面においても、固定資産や有価証券の売却等により手元資金の充実を図り、資金流動性の最適化及び財務基盤の強化を推進いたしました。

また、取引金融機関と定期的に協議を行い良好な関係を維持することで、今後も継続的な支援を得られる見通しであることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	3,203	5,781
売掛金	1,991	2,684
商品及び製品	11,047	11,819
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	448	438
その他	1,879	2,116
流动資産合計	18,570	22,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,547	2,602
土地	6,735	6,735
その他（純額）	195	249
有形固定資産合計	9,478	9,587
無形固定資産		
商標権	1	1
その他	471	550
無形固定資産合計	473	552
投資その他の資産		
投資有価証券	3,685	667
敷金及び保証金	8,191	8,183
退職給付に係る資産	1,395	1,421
その他	494	403
貸倒引当金	△14	△11
投資その他の資産合計	13,751	10,663
固定資産合計	23,703	20,804
資産合計	42,274	43,646
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形及び買掛金	912	2,094
電子記録債務	1,975	2,726
短期借入金	7,444	7,431
1年内返済予定の長期借入金	5,288	5,188
未払法人税等	169	150
契約負債	698	806
賞与引当金	277	154
その他	3,219	3,575
流动負債合計	19,985	22,126
固定負債		
長期借入金	1,597	1,433
退職給付に係る負債	515	508
ポイント引当金	20	15
資産除去債務	2,527	2,495
その他	993	817
固定負債合計	5,654	5,270
負債合計	25,639	27,396

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,433	13,265
利益剰余金	3,359	5,115
自己株式	△2,711	△2,712
株主資本合計	14,181	15,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,993	1
為替換算調整勘定	△31	0
退職給付に係る調整累計額	490	477
その他の包括利益累計額合計	2,452	480
純資産合計	16,634	16,249
負債純資産合計	42,274	43,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,533	13,741
売上原価	5,691	5,408
売上総利益	8,841	8,332
販売費及び一般管理費	8,689	8,476
営業利益又は営業損失(△)	152	△143
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	21	23
不動産賃貸料	105	102
その他	58	71
営業外収益合計	187	197
営業外費用		
支払利息	44	52
不動産賃貸費用	11	17
その他	10	16
営業外費用合計	66	86
経常利益又は経常損失(△)	273	△32
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	290	2,626
特別利益合計	290	2,626
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	9	3
減損損失	—	45
店舗閉鎖損失	5	41
その他	—	1
特別損失合計	21	92
税金等調整前四半期純利益	542	2,501
法人税、住民税及び事業税	54	47
法人税等調整額	3	698
法人税等合計	57	746
四半期純利益	485	1,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	1,755

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	485	1,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△331	△1,991
為替換算調整勘定	26	32
退職給付に係る調整額	△11	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	△316	△1,972
四半期包括利益	169	△216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169	△216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1. 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
商品及び製品	2,402百万円	1,992百万円
建物及び構築物	334	591
土地	3,202	3,202
投資有価証券	3,007	—
計	8,947	5,786

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
支払手形及び買掛金	0百万円	0百万円
短期借入金	4,813	4,813
1年内返済予定の長期借入金	1,402	1,402
長期借入金	1,568	1,411
計	7,784	7,628

※2. 当社及び一部の連結子会社においては、流動性を確保し、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行と当座借越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
当座借越極度額及び貸出コミットメントの 総額	6,834百万円	6,991百万円
借入実行残高	6,278	6,278
差引額	555	712

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）及び当第1四半期連結累計期間  
(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期から第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	129百万円	129百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額（注） 1
	ファッショ n	フード サービス	教育	
売上高（注）2				
重衣料	6,419	—	—	6,419
中衣料	1,163	—	—	1,163
軽衣料	2,507	—	—	2,507
服飾雑貨	3,474	—	—	3,474
その他	185	539	242	967
顧客との契約から生じる収益	13,750	539	242	14,533
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,750	539	242	14,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	13,750	539	242	14,533
セグメント利益	132	11	9	152

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- 2. 重衣料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート  
中衣料・・・ジャケット・ボトムス・アウター  
軽衣料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア  
服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリー  
その他・・・サービスの提供等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額（注） 1
	ファッショング	フードサービス	教育	
売上高（注）2				
重衣料	6,260	—	—	6,260
中衣料	1,125	—	—	1,125
軽衣料	2,457	—	—	2,457
服飾雑貨	2,831	—	—	2,831
その他	246	558	262	1,066
顧客との契約から生じる収益	12,920	558	262	13,741
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,920	558	262	13,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,920	558	262	13,741
セグメント利益又は損失（△）	△152	8	0	△143

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

- 2. 重衣料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート  
中衣料・・・ジャケット・ボトムス・アウター  
軽衣料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア  
服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリー  
その他・・・サービスの提供等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッショング事業」セグメントにおいて41百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

1. 当社は、借入金6,352百万円について、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

(1) 連結の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計画値の90%以上に維持すること

(2) 連結の純資産額を直前期の90%以上に維持すること

(3) 中間会計期間末及び事業年度末における単体の総借入額を運転資金の金額以下とすること

なお、財務制限条項は、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドのシンジケートローン契約にも適用されます。

2. 当社の連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの借入金4,532百万円については、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

・各四半期累計期間におけるサマンサ連結の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計画値の90%以上に維持すること

なお、2025年11月末日において、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドは財務制限条項に抵触しておりますが、主要取引銀行と綿密な関係を維持し、定期的に建設的な協議を持続していることから、今後も主要取引銀行より継続的な支援が得られるものと考えております。